

教科書 P48～49 を見ながら考えよう。

## 東日本大震災への緊急対応

( )県( )市では、大きな地震の直後に(災害対策本部)を設けて、( )や( )などの指示を出した。また、避難した住民のための( )、( )、( )なども宮城県や災害相互応援協定を結んでいる他県の市などに手配を要請。

宮城県でも、( )をつかむための( )を行うとともに、( )に災害時の派遣要請を行った。また、( )を適用して、必要な( )を被災地に送る準備を始めた。

- 地震の( )から、( )を助けるために動き出している。
- 震災の( )から、こういうときに対応するための( )ができている。

国(政府)は、( )にもとづき、( )を設けた。各県と連絡を取りながら、自衛隊の( )や、他国への( )、必要な( )の準備を進めた。

東日本大震災では、被害が( )におよび、( )がとても難航した。

( )は、この緊急事態に対応するため、全国各地の消防署から( )を派遣させた。自衛隊の災害派遣は、何度かに分かれて増員され、過去最大の10万人規模となった。

- 国の緊急災害対策本部は、地震が起こった約( )分後に設けられた。
- 災害に対応するための体制は、( )にもとづいている。